

# 株主通信 vol.13

## 第24期 第2四半期事業報告書

平成20年11月1日から平成21年4月30日まで



LLHD 大阪証券取引所  
上場4355

ロングライフホテルディング株式会社

証券コード4355

ロングライフ神戸青谷

## 経営資源の集中により、さらなる飛躍を目指します。



### Q1. 当第2四半期連結累計期間（当中間期）の業績についてお聞かせ下さい。

A. 当第2四半期連結累計期間は、全社一丸となり、利益を出すことにまい進したことが一番のポイントです。日本ロングライフ株式会社、エルケア株式会社ともに、営業

強化体制の中で、全社を挙げて集中して目標に向かった期でありました。私どもの仕事は社会においてなくてはならない仕事です。しかし、業績面において厳しい状況が続いておりました。第1四半期連結会計期間においてホーム販売が低迷いたしました。通期はなんとしても黒字にしたいという強い思いのもと、当第2四半期連結会計期間では、利益が大幅に好転いたしました。利益を確保することは、お客様の安心にもつながります。しかしながら、利益確保はもちろんのこと、社会的な使命感が必要であることを念頭に置かなければならないと考えています。

### Q2. ロングライフエージェンシー株式会社、ロングライフプランニング株式会社、およびロングライフサポート株式会社の統廃合についての決断には、どのようなものがあったのでしょうか？

A. 専門分野ごとに独立した会社経営は、資本・人材・経営の分散という点においてマイナスであった事は否めません。そのマイナスをいかにして克服しようかと考えた結果、本業に集中していく、つまり、創業以来の介護サービス事業に経営資源を集中するのが一番良いという結論に達しました。当社にとって、大きな決断ではございましたが、介護サービス業界のパイオニアとして更なる飛躍を続けてまいります。



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

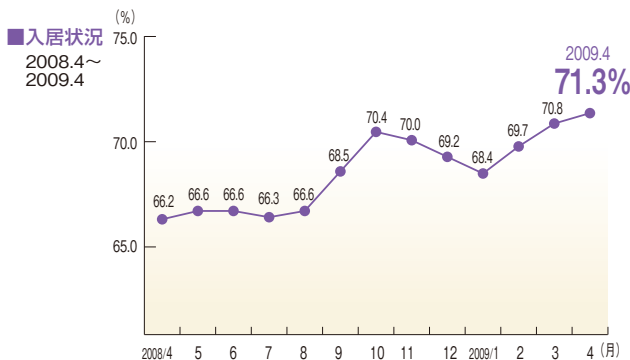
第24期 第2四半期(平成20年11月1日から平成21年4月30日まで)事業報告書をお届けするにあたり、遠藤正一社長に、業績および今後の方向性について聞きました。

### Q3. 今後の戦略、新規設備投資に関する お考えについて教えてください。

A. 介護業界で、再編成が起こりつつあります。新規設備投資の事業拡大は、独自で行うという選択肢の他に、当社の長年に培ったノウハウや、人材、研修システムの強みを生かし、提携等で事業を拡大していくという選択肢もございます。直近においては、既存ホームの入居率の向上および業績の安定、利益の黒字化にエネルギーを集中させていきたいと思っております。

### Q4. 株主の皆様へのメッセージを お聞かせください。

A. 超高齢社会において、政府や制度に頼らず民間企業として創意工夫、努力、知恵を絞り、長年経営をしております。



ました。また、益々拡大してまいります超高齢社会は、国家的問題であります。その中で、当社にご投資頂く事は、社会貢献とお考え頂き、短期的なリターンのみならず、中長期的な視点で、事業に共感・理解をしていただきますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 遠藤 正一



役員：(左から) ロングライフホールディング(株) 常務取締役管理本部長 瀧村明泰  
ロングライフホールディング(株) 代表取締役社長 遠藤正一  
日本ロングライフ(株) 代表取締役社長 小嶋ひろみ  
ロングライフホールディング(株) 代表取締役副社長 北村政美  
エルケア(株) 代表取締役社長 米澤孝承



## 在宅ケアサービスで安心・安全をサポート エルケア株式会社



### 事業概要

在宅ケアサービスを核に事業展開。訪問介護や訪問入浴、デイサービスや福祉レンタルといったサービスに加え、訪問歯科、訪問看護など介護を必要とされる方とご家族の生活を総合的にサポートしています。

社名：エルケア株式会社  
設立：平成19年8月31日  
所在地：〒556-0011  
大阪市浪速区難波中1-6-8 イチエイ総合ビル4F  
<http://l-care.jp>

### ごあいさつ

平成21年4月15日付でエルケア株式会社の代表取締役役に就任いたしました。

前職では、関西アーバン銀行で営業を30年以上、また、支店長も7拠点経験いたしました。

銀行員時代は、中小企業に対する経営のアドバイスに携わり、対応させていただいた企業を少しでも良い企業にするべくまい進した日々でございました。その気持ちは、今でも変わっておりません。

企業とは、財務面、人事面、総務面等、すべてが深く関連し、どれも手を抜くことはできません。例えば、働きがいは従業員にとって非常に大切なものであり、ひいてはエルケア株式会社を支えていくものです。山本五十六の「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、褒めてやらねば人は動かじ」を信条に、会社全体を率先して統括して行く所存でございます。加えて、企業はすべての要素を右肩上がりに持って行く必要があり、低迷している財務面は早急に右肩上がりに、既に良いものはさらにそのベクトルの角度を高くもって行くように尽力いたします。

今後もコンプライアンスを徹底し、質の高いサービスのご提供に努め、新たな介護事業の確立に努めてまいります。エルケア株式会社にご期待ください。

代表取締役社長 米澤 孝承



## お客様に 最大にご信頼いただけるように 努めてまいります。

日々お客様に接する日本ロングライフ(株)の3人の社員が  
営業の心構えについてお話しします。

日本ロングライフ(株)  
営業本部(神戸本部)  
副本部長

森山 雅史

日本ロングライフ(株)  
営業本部(大阪本部)  
副本部長

小野 浩志

日本ロングライフ(株)  
営業本部  
お客様相談室 室長

亀高 奈美



写真左：森山雅史 右：小野浩志

### Q1. ホームを販売するにあたり、心構えを 教えてください。

**小野** 営業ですから、もちろん実績を作ることが大切で、その結果お客様が喜んでご入居される笑顔を見ると、また次へ向けたモチベーションアップにつながり、販売意欲の礎となります。

**森山** 一方で、お客様に喜んでご入居いただくためには、営業本部から社内に向けて発信していかなければならない点も多々出てきます。例えば、お客様相談室の電話対応、また、ホームでの見学者の対応等、気づいた点があれば部署を問わず、どんどん発信していきます。お客様目線で提言をしていくことが重要な活動です。

**小野** そのとおりです。いくら営業を頑張っても成果が出ないときはありますが、それを、季節や時期、天候を理由にはできません。まずは、何か足りない点はないか、もっとできる点はないかと試行錯誤の繰り返しが大切だと感じ

ています。そういう意味で、会社全体はもちろん、業界全体、社会全体を見渡す広い視野が必要になってくると思います。

**亀高** そうですね。電話対応では、会社の最初の窓口として、常に丁寧で明るい対応を心がけています。ホームの魅力を最大限にお伝えすることは当然のことながら、お客様のニーズに応えるべく、常にアンテナを張り巡らし、スピーディーに取り組んでまいります。

### Q2. 通常の不動産販売と異なる点は 何ですか？

**森山** 結婚してマンションを購入する事とは全く違います。人生の中間地点で家を購入するわけではないからです。ホームにご入居をいただくことは、終の住処としてのお住まいとともに、セカンドライフを丸ごとお引き受けさせていただくということだからです。ですから、箱物を売る不動産販売とは違うのです。



**小野** “販売したら終わり”ではなく、ご入居された後も関係を築いてまいります。私の経験ですが、3年前にご入居を担当させていただいたお客様がおられるホームに立ち寄った折、そのお客様にお声を掛けさせていただきました。その際に、ホームでの生活の喜びを涙を浮かべながら語っていただき、私自身もそのお言葉を頂戴したことに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

**森山** そうですよ。そういう経験が、また私たちを動かしてくれるのですよね。

### Q3. 常に心がけていることを教えてください。

**小野** 誠実に、当社の理念、サービスを伝えていくということです。

**森山** お客様によって、背中を軽く押してさしあげた方が良い方、逆に、真正面からお迎えするように話しかける方が良い方等、お客様は千差万別です。私たちは、お客様を最大限理解し、大きなご信頼をいただけるように努めなければならないと常に思っています。

**亀高** お客様からいただいた、一つ一つのご縁を大切に考えています。一人でも多くのお客様にロングライフの魅力をお伝えたく、お問い合わせだけで終わらずに資料請求からご見学に至るようにご案内をしています。その中で、お客様のお役に立てれば幸いです。

### Q4. 営業をしていて、注意している点をお聞かせ下さい。

**森山** 注意している点は、お客様のニーズをきちんと理解するという事です。当社のホームへご入居されたあとのイメージを持っていただく事も重要ですし、スタッフや他の

ご入居の方と楽しく暮らしたい、広い居室が欲しい等のご希望に優先順位を付けていただく事も重要だと思っています。

**小野** それに加えて、介護業界において、いろいろな高齢者向け住居の形態がある中で、それぞれの形態の長所、短所を平等に、且つ、具体的にお話しし、わかりにくい部分もクリアにさせていただいてから、安心してロングライフにお任せいただけるように努めています。

**森山** それがとても重要なんです。お客様ご自身、あるいは、ご家族でしっかりと考えていただく機会をいかにたくさん作るかということです。

### Q5. 株主の皆様へ一言

**森山** 業界のパイオニアとして、企業理念やこれまでの実績を背景に、社内外に対する責任ある立場を自覚し、きちんと計画の達成を続けていく所存です。是非ご期待ください。

**小野** 営業は、めまぐるしい経済環境の中、全員の意思統一をしっかりと行い、一丸でやっています。大きな社会的使命を果たすべく、お客様目線を大切にご入居の促進を心掛けてまいります。今後ご期待ください。

**亀高** 会社の最初の窓口として、一人でも多くのお客様にロングライフのファンになっていただけるように努めてまいります。どのようなセカンドライフのご相談も、お客様相談室までお電話ください。今後とも、よろしく願い申し上げます。



亀高 奈美



### 経営成績に関する分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、前年度から続く世界的な金融市場の混乱の影響を受け、引き続き深刻な状況が続く展開となりました。当第2四半期連結累計期間の東証株価指数（TOPIX）は、3月初旬にはバブル後最安値を更新する局面もあり、世界経済の先行き不透明感はますます強まりました。世界経済の後退により、輸出関連企業等の業績は急速に失速し、国内外企業の設備投資の縮小並びに内外需要の減少に伴う在庫調整圧力を背景に、生産量が大幅に落ち込む等の形で景気の悪化が深刻化してまいりました。さらに、企業業績の低迷による雇用環境の悪化、賃金、賞与の減少を背景に、景気浮上の見通しは依然として不透明であり、消費マインドは一層冷え込みを見せるにいたりました。しかし、当第2四半期連結累計期間後半は、世界的に株式市況が徐々に落ち着きを取り戻し、東証株価指数（TOPIX）も上昇基調をたどりました。

介護サービス業界においては、従来より決定されていた平成21年度介護報酬改定（改定率3%、うち在宅分1.7%、施設分1.3%）が平成21年4月より施行されました。これにより介護従事者の人材確保・処遇改善、医療との連携や認知症ケアの充実、効率的なサービスの提供や新たなサービスが円滑に行われることが期待されています。しかし、今回の介護報酬改定がどこまで介護従事者の処遇改善等に結びつけられるかという課題が残っています。人材確保の面では、景気後退を追い風に応募者数は増加基調にありますが、職務へのミスマッチも多く、人材確保よりむしろ離職率を低下させることが重要な課題になると考えます。

このような状況のもと、当社グループ（当社および連結子会社）は、当第2四半期連結会計期間では、ホーム介護事業における有料老人ホームの営業強化体制が功を奏し販売が好調に推移し、また、在宅介護事業も安定して利益貢献ができる体質となりました。しかしながら、グループ会社の再編を進めたことに伴う費用および販売用土地の評価損を特別損失に計上した結果、売上高は41億4千万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は53百万円（前年同期は76百万円の損失）、経常利益は34百万円（前年同期は99百万円の損失）、四半期純損失は57百万円（前年同期は1億24百万円の損失）となりました。

### 《介護事業》

介護事業においては、主に当社グループ連結子会社2社で構成されております。日本ロングライフ株式会社が、有料老人ホームおよびグループホームの運営、兵庫県住宅供給公社の経営する有料老人ホーム「パストラール尼崎・加古川」の運営受託、訪問介護員の養成を主に行う「ロングライフ医療福祉専門学院」の運営を行っております。また、訪問入浴、訪問介護を主力とする在宅介護事業はエルケア株式会社が行っております。なお、訪問介護員の派遣事業を主力とするロングライフサポート株式会社は、平成21年4月27日付で株式会社ナイチンゲールに全株式を譲渡し、当社グループ会社ではなくなっております。介護事業の売上高は40億73百万円、営業利益は1億86百万円となりました。

### 《給食事業》

給食事業においては、連結子会社で主に有料老人ホーム等への食事の提供を行うロングライフダイニング株式会社で構成されております。売上高は2億16百万円、営業利益は9百万円となりました。

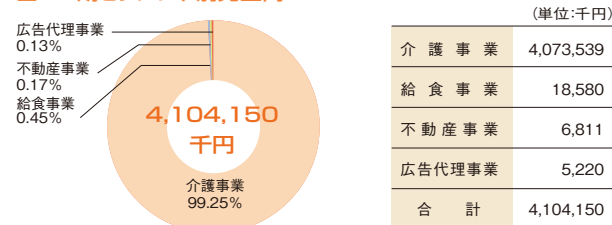
### 《不動産事業》

不動産事業においては、連結子会社で主に建築工事請負業を行うロングライフプランニング株式会社（平成21年5月1日付で、当社連結子会社である日本ロングライフ株式会社に吸収合併）で構成されております。売上高は34百万円、営業損失は1百万円となりました。

### 《広告代理事業》

広告代理事業においては、連結子会社で主に広告代理業を行うロングライフエージェンシー株式会社（平成21年4月1日付で、当社連結子会社である日本ロングライフ株式会社に吸収合併）で構成されております。売上高は1億円、営業利益は0百万円となりました。

#### ■24期セグメント別売上高



## 連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年10月31日)
(資産の部)		
流動資産		
① 現金及び預金	322,309	697,535
受取手形及び売掛金	899,953	1,049,607
たな卸資産	317,488	344,253
繰延税金資産	33,995	52,074
預け金	461,584	416,740
その他	166,501	181,698
貸倒引当金	△1,704	△129
流動資産合計	2,200,127	2,741,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,677,524	4,685,831
減価償却累計額	△1,317,345	△1,217,147
建物及び構築物(純額)	3,360,179	3,468,683
機械装置及び運搬具	12,621	12,621
減価償却累計額	△10,579	△9,778
機械装置及び運搬具(純額)	2,042	2,843
工具、器具及び備品	334,645	373,848
減価償却累計額	△234,294	△250,341
工具、器具及び備品(純額)	100,350	123,506
土地	1,664,891	1,664,891
建設仮勘定	—	5,973
有形固定資産合計	5,127,462	5,265,899
無形固定資産		
のれん	302,613	344,838
その他	24,351	21,911
無形固定資産合計	326,965	366,750
投資その他の資産		
差入保証金	448,952	425,545
長期前払費用	87,860	97,300
破産更生債権等	5,517	—
その他	44,363	29,316
貸倒引当金	△5,241	—
投資その他の資産合計	581,453	552,163
固定資産合計	6,035,881	6,184,812
資産合計	8,236,008	8,926,594

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年10月31日)
(負債の部)		
流動負債		
買掛金	65,376	120,861
一年以内償還予定の社債	—	100,000
短期借入金	696,500	487,500
一年以内返済予定の長期借入金	584,846	1,185,936
未払金	102,518	170,404
未払費用	367,575	380,601
未払法人税等	27,468	42,090
② 前受金	3,108,843	3,050,524
賞与引当金	65,143	47,912
契約解除引当金	18,113	19,981
その他	80,904	97,657
流動負債合計	5,117,289	5,703,470
固定負債		
長期借入金	792,712	850,400
繰延税金負債	4,097	1,904
退職給付引当金	6,849	6,036
ホーム介護アフターコスト引当金	15,660	16,200
その他	8,002	3,200
固定負債合計	827,321	877,740
負債合計	5,944,611	6,581,211
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	100,000	1,114,139
資本剰余金	—	1,113,376
利益剰余金	2,217,704	147,382
自己株式	△32,301	△32,301
株主資本合計	2,285,402	2,342,596
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,994	2,786
評価・換算差額等合計	5,994	2,786
純資産合計	2,291,397	2,345,382
負債純資産合計	8,236,008	8,926,594

① 借入金の返済が進んだ為、現金が減少

② 新規販売が好調に推移した為、入園金の増加に伴う前受金の増加



## 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日)	前中間 連結会計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)
売上高	4,104,150	3,952,484
売上原価	3,296,891	3,339,066
売上総利益	807,259	613,417
販売費及び一般管理費	754,030	690,017
⑤ 営業利益または営業損失(△)	53,229	△ 76,599
営業外収益	7,342	9,527
営業外費用	26,091	32,058
経常利益または経常損失(△)	34,479	△ 99,131
特別利益	17,134	394
特別損失	65,937	9,023
税金等調整前四半期(中間)純損失	14,322	107,759
法人税、住民税及び事業税	42,870	16,374
四半期(中間)純損失	57,193	124,762

## 連結キャッシュ・フロー計算書

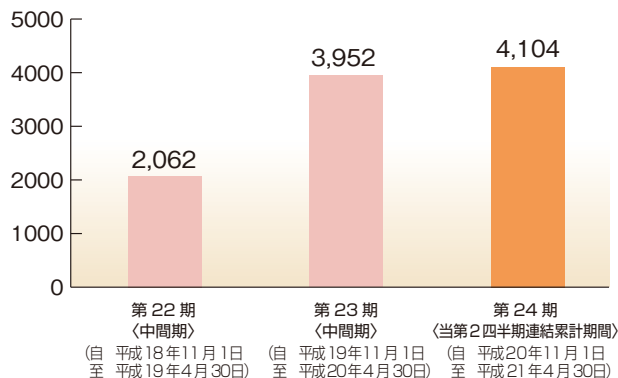
(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日)	前中間 連結会計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	216,784	152,016
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,155	△582,134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△549,855	246,650
現金及び現金同等物の減少額	375,226	183,467
現金及び現金同等物の期首残高	697,535	967,435
現金及び現金同等物の四半期末 (中間期末)残高	322,309	783,967

⑤ ホーム販売が伸び、経費削減が奏功した為、営業利益がプラスに

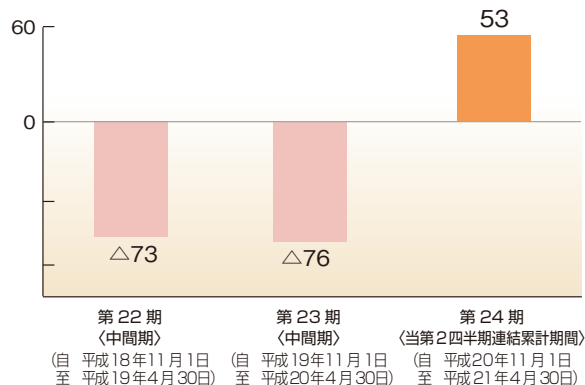
### ■売上高の推移

(単位:百万円)



### ■営業利益の推移

(単位:百万円)

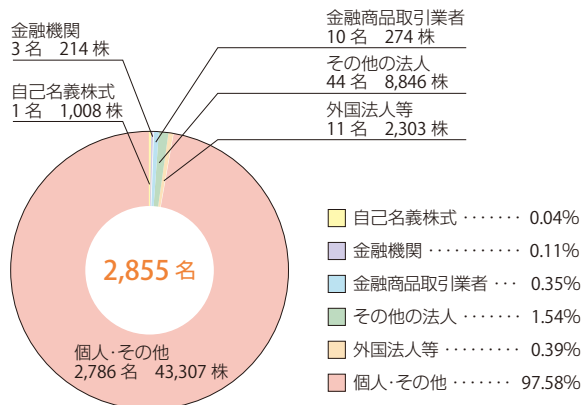




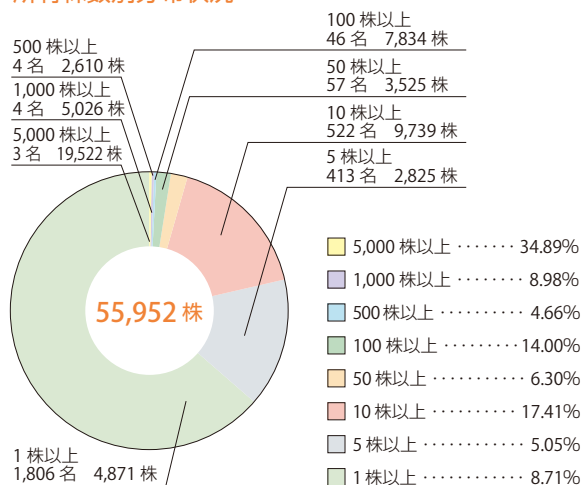
発行可能株式総数 ————— 126,000 株  
 発行済株式総数 (自己株式1,008株を含む) ——— 55,952 株  
 株主数 ————— 2,855 名

### ■株式分布状況

#### 所有者別株式分布状況



#### 所有株数別分布状況



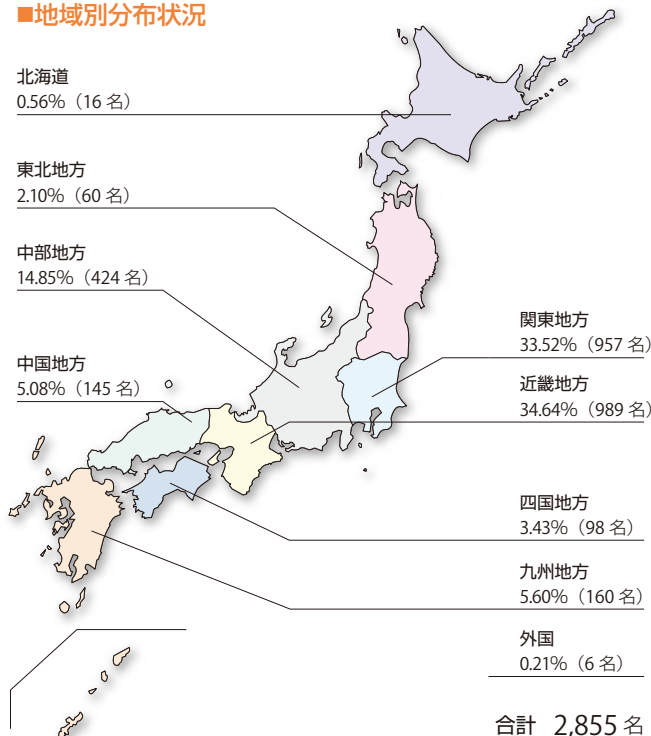
### ■大株主

株主名	株式数(株)	出資比率(%)
遠藤 正一	7,660	13.94
北村 政美	6,334	11.53
ロングライフ総研株式会社	5,528	10.06
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	1,990	3.62
梅木 健一	1,025	1.87
株式会社アドバンスクリエイト	1,003	1.83
ロングライフホールディング従業員持株会	840	1.53
ロングライフホールディング役員持株会	702	1.28
王 増富	540	0.98
株式会社 CDG	528	0.96

(注1) 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

(注2) 当社は自己株式1,008株(発行済株式総数に対する割合1.80%)を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

### ■地域別分布状況



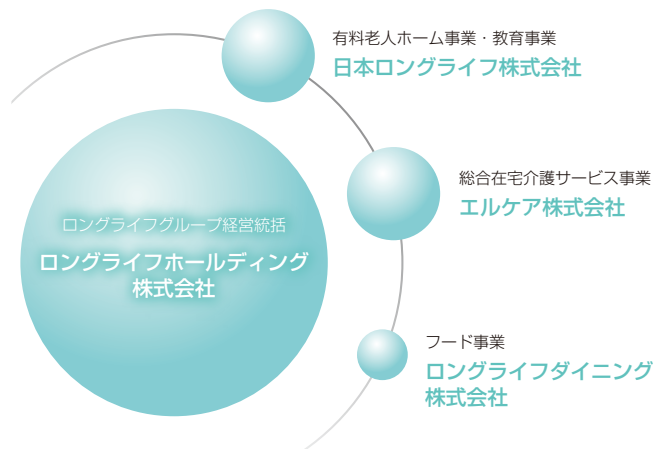


商号	ロングライフホールディング株式会社
大阪本社	〒530-0015 大阪市北区中崎西二丁目4番 12号梅田センタービル25階
東京本社	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目 2番9号駒井ビル3階
代表者	代表取締役社長 遠藤 正一
設立	1986年9月(昭和61年9月)
資本金	1億円
事業内容	傘下グループ会社の経営管理並びにそれに 付帯する業務

### 会社役員

代表取締役社長	遠藤 正一
代表取締役副社長	北村 政美
専務取締役	小嶋 ひろみ
常務取締役	瀧村 明泰
常勤監査役	田中 朗義
監査役	木村 公之
監査役	米田 昭三郎
執行役員	米澤 孝承
執行役員	橋本 恭弘

### グループ会社



### 事業所

#### ●有料老人ホーム・グループホーム

・大阪  
 ロングライフ長居公園  
 ロングライフうつぼ公園  
 ロングライフ上野芝  
 ロングライフ高槻  
 ラビアンローズ緑地公園  
 ラビアンローズ千里山  
 ラビアンローズ高槻  
 グループホームみなせⅠ号館  
 グループホームみなせⅡ号館  
 ラビアンローズ上野芝

・兵庫  
 ロングライフ芦屋  
 ロングライフ甲子園口  
 ロングライフ・クイーンズ塩屋  
 ロングライフ神戸青谷  
 ラビアンローズ宝塚

・首都圏  
 ロングライフ成城  
 ロングライフ葛西  
 ロングライフ梶ヶ谷

#### ●公益事業受託運営

パストラル加古川/パストラル尼崎

#### ●ロングライフ医療福祉専門学院

なんば校

#### ●人財・研修センター

ロングライフなんばプラザ(ロングライフなんば研修センター)

#### ●保育園

のぼら保育園(上野芝)

#### ●エルケア在宅介護センター

##### 訪問介護 (41拠点)

ひらかた/ひがしくすのき/くすのき/高槻市役所前/北大阪/いのこだに/  
 茨木/豊中少路/豊中/大阪西/西淀川/大正中央/新大阪/あわじ/天王寺/  
 天神/都島毛馬/大阪阿倍野/西成/住之江/総合在宅サービス阿倍野/生野/  
 鶴見/城東すわ/大阪東住吉/住吉/ひらの/桃谷/駒川/堺/泉ヶ丘/きし/  
 大阪和泉/かいづか/高石/はなその/大阪小阪/八尾みどり/ひょうたん山/  
 おおはす/はびきの

##### 居宅支援 (27拠点)

ひらかた/ひがしくすのき/北大阪/豊中少路/くすのき/豊中/  
 高槻市役所前/大阪西/大正中央/大阪メディカル/大阪小阪/生野/鶴見/  
 城東すわ/大阪東住吉/住吉/ひらの/天王寺/都島毛馬/西成/阿倍野/  
 堺/鳳/きし/大阪和泉/かいづか/高石

##### 訪問看護 (2拠点)

いずみおおつ/淀川

##### デイサービス (8拠点)

本庄東/城東鴨野/高槻/みなせ/弁天町/今福/阿倍野/上野芝

##### 小規模多機能 (4拠点)

住之江粉浜/高石/貝塚/平野長原

##### 訪問入浴 (4拠点)

大阪入浴/阿倍野入浴/豊中入浴/堺入浴

##### 訪問歯科 (7拠点)

大正中央/城東すわ/大阪東住吉/堺駅前/くすのき/はなその/かいづか

##### 福祉用具 (2拠点)

エルケア福祉用具/環状関西

## 株主メモ

事業年度 / 毎年11月1日から翌年10月31日

基準日 / 定時株主総会 毎年10月31日  
/ 期末配当 毎年10月31日  
/ 中間配当を行う場合毎年4月30日

株主名簿管理人 / 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
特別口座の口座管理機関 / 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 / 〒530-0004  
(お問い合わせ先) / 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部  
0120-094-777 (通話料無料)

公告方法 / 電子公告  
やむを得ない事由が生じた場合は、  
日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 / 大阪証券取引所  
「ヘラクレス」

### (ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名義管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお客様の支払いいたします。



当社ホームページもあわせてご覧ください。

企業情報や投資家情報に加え、さまざまなコンテンツが充実しています。

<http://longlife-holding.co.jp/>



# ロングライフホールディング株式会社

大阪本社 〒530-0015 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル25階  
TEL: 06-6373-9191 FAX: 06-6373-9197

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目2番9号 駒井ビル3階  
TEL: 03-3272-5571 FAX: 03-3272-5561

お客様相談室……………  
(ホーム見学受付)

フリーコール ここわ・ふくし  
**0120-550-294**



ラビアンローズ高槻